

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

がん教育事業の評価方法の検討

研究分担者 助友 裕子（日本女子体育大学 教授）
研究協力者 細川 佳能（早稲田大学大学院 博士後期課程2年）

研究要旨：本研究では、がん対策の評価に資するがん教育指標のモニタリング方法を検討することを目的とした。神奈川県と沖縄県の県立高等学校2年生2,000名程度を対象としたオンラインによる自記式質問紙調査を実施した。各項目の統計量（連続尺度）ならびに度数分布（名義尺度と順序尺度）を確認した後、生活習慣とがんの関係に関する知識について、「がんは、生活習慣の改善で予防できる」「がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない」の両方のみを回答した者を知識定着群、そうではない者を知識非定着群とし、各項目の平均値（連続尺度）ならびに回答割合（名義尺度と順序尺度）について2群間比較を行った。その結果、生活習慣とがんの関係に関する知識定着度の違いが、がん対策各分野につながる知識や認識と一定の関連性を認めた。今後は、全国調査を行い、適切ながん教育のあり方を提言することが求められる。

A. 研究目的

がん教育は、それ自体をゴールとしたものではなく、がん対策の推進に資する一分野としての取組みである。しかし、これまでに設定されてきたがん教育指標については、がん対策アウトカムに結びついていることの検証がなされていない。

そこで、本研究では、高等学校2年生を対象としたパイロット調査を実施し、がん対策の評価に資するがん教育指標のモニタリング方法を検討することを目的とした。

B. 研究方法

1. 調査設計

神奈川県と沖縄県の県立高等学校2年生2,000名程度を対象としたオンラインによる自記式質問紙調査を実施した。対象者の選定基準として、入学時基礎学力習熟度別に各県3校ずつを選定するよう、各県教育委員会に依頼し、内諾を得た。調査は、2021年度2学期中（9月～12月）の各校任意の期日に実施するよう依頼した。まず、研究協力校の学校長に書面に

よる依頼をした後に（資料1）、調査一式を学校長経由で配布した。クラス毎に担任教諭が調査用QRコード票を配布し回収した。その際、担任教諭は、マニュアル（資料2）にもとづいて調査を実施した。実施後、母集団（研究対象者）のサンプルサイズを把握するため、都道府県、クラス在籍者数を記録した用紙（同じく資料2）を封筒に密閉し、郵送により回収した。

2. 調査項目

- 1) 性別
- 2) 健康行動意図（3件法） 8項目
- 3) がん検診は、どのような人が受けるものだと思うか（複数回答） 3項目
- 4) 自身ががんと診断されたら、治療方法は誰が中心となって決めると思うか
- 5) がんの標準治療として適切だと思うもの（複数回答） 8項目
- 6) 緩和ケアに関する知識
- 7) 生活習慣とがんの関係に関する知識
- 8) がんになっている人も過ごしやすい世の

中にしたいか

- 9) がんスティグマ (がんに対する考え方やイメージ) (7件法) 2項目
- 10) がんのセルフスティグマ
- 11) ヘルスメディアリテラシー (5件法) 3項目
- 12) がん情報に関するセルフエフィカシー (5件法) 8項目
- 13) がんの情報源 (複数回答) 12項目
- 14) 授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったことはあるか
- 15) 授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたことがあるか
- 16) 授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたことがあるか

3. 分析方法

各項目の統計量 (連続尺度) ならびに度数分布 (名義尺度と順序尺度) を確認した後、生活習慣とがんの関係に関する知識について、「がんは、生活習慣の改善で予防できる」「がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない」の両方のみを回答した者を知識定着群、そうではない者を知識非定着群とし、各項目の平均値 (連続尺度) ならびに回答割合 (名義尺度と順序尺度) について2群間比較を行う。有意水準は、 $p < 0.05$ とした。

4. 倫理面への配慮

本研究の対象者は、研究協力校の学校長の指示による調査実施担当教員から説明を受けた高校2年生で、研究内容を理解し、本人の意思で研究参加に同意した者とし、調査への回

答は任意であることを、調査実施担当教員から説明するとともに、調査用QRコード票にも記載した。本研究は、日本女子体育大学研究倫理委員会研究倫理審査専門部会の承認を得て実施した (申請番号2021-10)。

C. 研究結果

表1に、生活習慣とがんの関係の知識の定着度別回答割合の比較結果を示す。知識非定着群と比して、知識定着群では、がん検診 (Q2)、がん医療 (Q5)、緩和ケア (Q6) の各設問において、適切な回答を選択していた者の割合が有意に高値を示した。がん検診受診意図 (Q2) や治療方法の意思決定 (Q4)、がん患者とのコミュニケーション (Q9,10) についても、同様の傾向がみられた。一方、がんの情報源を活用することについて (Q12,13)、総じて難しいと回答した者の割合が高い設問が多く、がん情報源の入手先として選択される項目 (Q14) は、2項目のみ過半数を超える結果となった。Q14の選択割合は少ないものの、知識定着群で有意に高い選択割合を示した。

D. 考察

生活習慣とがんの関係に関する知識を定着させることは、平成29、30年改訂学習指導要領に向けて中央教育審議会が保健の学びで目指した疾病等のリスクの軽減に寄与するものである。この学びを強化することは、結果としてがん対策推進にも寄与する可能性がある。しかし、本研究は限られた地域を対象とした横断研究であるとともに、要因間の交絡について考慮していない。今後は、調査対象を全国に広げ、多変量解析を行うことで、適切ながん教育のあり方を提言していく。

E. 結論

本研究では、2県における高等学校2年生を対象とした質問紙調査を行った結果、生活習慣とがんの関係に関する知識定着度の違いが、がん対策各分野につながる知識や認識と一定の関連性を認めた。今後は、全国調査を行い、適切ながん教育のあり方を提言することが求められる。

G. 研究発表

1. 論文発表

助友裕子, 東尚弘, 若尾文彦. 外部講師活用型がん教育の推進における教育委員会担当者の困り事—がん対策担当部署との連携に向けたワークショップ参加者の記述—. 日本健康教育学会誌 2021 ; 29(2) : 163-172.

助友裕子. 健康なコミュニティ再生の担い手 :—ヘルスプロモーションの視点から. 女子体育 2022 ; 64(1) : 10-13.

吉池信男, 武見ゆかり, 江口泰正, 中村正和, 上地勝, 岡浩一朗, 小橋元, 助友裕子, 福田吉治, 村山伸子. ウイズコロナの健康教育・ヘルスプロモーションを考えるワークショップ. 日本健康教育学会誌 2021 ; 29(2) : 198-206.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産の出願・登録状況

なし

表1 生活習慣とがんの関係の知識定着度別回答割合

		全体	知識非定着群	知識定着群	P
		(N=911)	(n=660)	(n=251)	
		n (%)	n (%)	n (%)	
Q1. 性別	男性	456 (50.1)	340 (51.5)	116 (46.2)	0.075
	女性	408 (44.8)	282 (42.7)	126 (50.2)	
Q2-1. たばこは吸わないでいようと思う。	そう思わない	84 (9.2)	71 (10.8)	13 (5.2)	0.008
	そう思う	820 (90.0)	582 (88.2)	238 (94.8)	
Q2-2. お酒は飲みすぎないようにしようと思う。	そう思わない	169 (18.6)	133 (20.2)	36 (14.3)	0.040
	そう思う	734 (80.6)	520 (78.8)	214 (85.3)	
Q2-3. 適度に運動を行おうと思う。	そう思わない	183 (20.1)	140 (21.2)	43 (17.1)	0.167
	そう思う	720 (79.0)	514 (77.9)	206 (82.1)	
Q2-4. 適正体重を維持しようと思う。	そう思わない	164 (18.0)	130 (19.7)	34 (13.5)	0.028
	そう思う	743 (81.6)	526 (79.7)	217 (86.5)	
Q2-5. 塩分を取りすぎないようにしようと思う。	そう思わない	283 (31.1)	216 (32.7)	67 (26.7)	0.066
	そう思う	622 (68.3)	438 (66.4)	184 (73.3)	
Q2-6. 野菜や果物を十分にとろうと思う。	そう思わない	137 (15.0)	106 (16.1)	31 (12.4)	0.147
	そう思う	768 (84.3)	548 (83.0)	220 (87.6)	
Q2-7. バランスの良い食生活に取り組もうと思う。	そう思わない	183 (20.1)	134 (20.3)	49 (19.5)	0.766
	そう思う	721 (79.1)	520 (78.8)	201 (80.1)	
Q2-8. がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	そう思わない	292 (32.1)	212 (32.1)	80 (31.9)	0.853
	そう思う	611 (67.1)	440 (66.7)	171 (68.1)	
Q3. 国が推奨しているがん検診は、どのような人が受けるものだと思いますか？(複数回答)	自覚症状のある人	374 (41.1)	253 (38.3)	121 (48.2)	0.012
	医師から受けるようにすすめられた人	377 (41.4)	245 (37.1)	132 (52.6)	0.000
	1, 2に該当しないが一定の年齢を過ぎたすべての人	561 (61.6)	367 (55.6)	194 (77.3)	0.000
	わからない	109 (12.0)	94 (14.2)	15 (6.0)	0.000
Q4. もしあなたががんと診断されたら、治療方法は誰が中心となって決めると思いますか。	医師/家族/わからない	354 (38.9)	275 (41.7)	79 (31.5)	0.002
	患者 (自分)	543 (59.6)	371 (56.2)	172 (68.5)	
Q5. がんの標準治療として適切だと思うものをすべて選択してください。(複数回答)	手術療法	462 (50.7)	303 (45.9)	159 (63.3)	0.000
	化学療法	193 (21.2)	117 (17.7)	76 (30.3)	0.000
	放射線療法	285 (31.3)	176 (26.7)	109 (43.4)	0.000
	免疫療法	154 (16.9)	99 (15.0)	55 (21.9)	0.018
	生体療法	84 (9.2)	60 (9.1)	24 (9.6)	0.894
	自然治癒力増強療法	107 (11.7)	74 (11.2)	33 (13.1)	0.478
	がんゲノム医療	95 (10.4)	70 (10.6)	25 (10.0)	0.707
	わからない	390 (42.8)	303 (45.9)	87 (34.7)	0.001
	Q6. 緩和ケアは末期がん患者のみに適用される医療である。	そう思う/どちらともいえない/わからない	746 (81.9)	549 (83.2)	197 (78.5)
Q8. がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	そう思わない	154 (16.9)	100 (15.2)	54 (21.5)	0.029
	そう思う	793 (87.0)	563 (85.3)	230 (91.6)	
Q9-1. がんの人と一緒にでもくつろげる	当てはまらない	304 (33.4)	240 (36.4)	64 (25.5)	0.001
	当てはまる	594 (65.2)	407 (61.7)	187 (74.5)	
Q9-2. がんの人と一緒にでも気楽でいられる	当てはまらない	411 (45.1)	313 (47.4)	98 (39.0)	0.012
	当てはまる	487 (53.5)	334 (50.6)	153 (61.0)	
Q10. がんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人にがんのことを自由に話せると思いますか。	話せると思わない	313 (34.4)	242 (36.7)	71 (28.3)	0.010
	話せると思う	584 (64.1)	404 (61.2)	180 (71.7)	
Q11-1. メディア(テレビ、新聞、インターネット、SNSなど)から得た病気に関する情報が信頼できるかどうかを判断する	難しい	642 (70.5)	459 (69.5)	183 (72.9)	0.603
	簡単	254 (27.9)	186 (28.2)	68 (27.1)	
Q11-2. メディア(テレビ、新聞、インターネット、SNSなど)から得た情報をもとに病気から身を守る方法を決める	難しい	572 (62.8)	426 (64.5)	146 (58.2)	0.027
	簡単	324 (35.6)	219 (33.2)	105 (41.8)	
Q11-3. 健康になるためのメディア(インターネット、雑誌、SNSなど)情報を理解する	難しい	410 (45.0)	305 (46.2)	105 (41.8)	0.136
	簡単	485 (53.2)	339 (51.4)	146 (58.2)	
Q12-1. 今、必要な情報は何か、考える	難しい	499 (54.8)	362 (54.8)	137 (54.6)	0.686
	簡単	394 (43.2)	281 (42.6)	113 (45.0)	
Q12-2. インターネットを活用する	難しい	216 (23.7)	169 (25.6)	47 (18.7)	0.020
	簡単	678 (74.4)	475 (72.0)	203 (80.9)	
Q12-3. がん相談支援センターを利用する	難しい	576 (63.2)	409 (62.0)	167 (66.5)	0.356
	簡単	318 (34.9)	235 (35.6)	83 (33.1)	
Q12-4. 信頼できる情報が、考える	難しい	548 (60.2)	390 (59.1)	158 (62.9)	0.451
	簡単	347 (38.1)	255 (38.6)	92 (36.7)	
Q12-5. 行動する前に、周囲の意見を聞く	難しい	312 (34.2)	236 (35.8)	76 (30.3)	0.081
	簡単	583 (64.0)	409 (62.0)	174 (69.3)	

表1 生活習慣とがんの関係の知識定着度別回答割合 (つづき)

Q13-1. いつの情報か	難しい	447 (49.1)	331 (50.2)	116 (46.2)	0.166
	簡単	445 (48.8)	311 (47.1)	134 (53.4)	
Q13-2. だれが発信している情報か	難しい	580 (63.7)	418 (63.3)	162 (64.5)	0.998
	簡単	308 (33.8)	222 (33.6)	86 (34.3)	
Q13-3. 何を根拠にしている情報か	難しい	650 (71.4)	465 (70.5)	185 (73.7)	0.581
	簡単	237 (26.0)	174 (26.4)	63 (25.1)	
Q14. あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。(複数回答)	がん相談支援センター(がん診療連携拠点病院の相談窓口)	521 (57.2)	348 (52.7)	173 (68.9)	0.000
	病院・診療所の医師・看護師や1以外の相談窓口	582 (63.9)	376 (57.0)	206 (82.1)	0.000
	保健所・保健センターの窓口	211 (23.2)	132 (20.0)	79 (31.5)	0.000
	図書館	65 (7.1)	47 (7.1)	18 (7.2)	0.979
	新聞・雑誌・書籍(4以外)	90 (9.9)	54 (8.2)	36 (14.3)	0.007
	テレビ・ラジオ	114 (12.5)	70 (10.6)	44 (17.5)	0.006
	国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」	296 (32.5)	177 (26.8)	119 (47.4)	0.000
	インターネット(7以外)	325 (35.7)	210 (31.8)	115 (45.8)	0.000
	家族・友人・知人	315 (34.6)	195 (29.5)	120 (47.8)	0.000
	その他	27 (3.0)	18 (2.7)	9 (3.6)	0.517
	情報を入手しようと思わない	7 (0.8)	6 (0.9)	1 (0.4)	0.680 ^a
	わからない	138 (15.1)	129 (19.5)	9 (3.6)	0.000
Q15. 授業で、がんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったことはありますか。	ない	339 (37.2)	259 (39.2)	80 (31.9)	0.028
	ある	553 (60.7)	385 (58.3)	168 (66.9)	
Q16. 授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたことがありますか。	ない	701 (76.9)	507 (76.8)	194 (77.3)	0.939
	ある	186 (20.4)	134 (20.3)	52 (20.7)	
Q17. 授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたことがありますか。	ない	579 (63.6)	421 (63.8)	158 (62.9)	0.662
	ある	314 (34.5)	224 (33.9)	90 (35.9)	

無印: χ^2 検定, ^a: Fisherの直接確率検定

Q3, Q5, Q14は各項目を選択した者の割合

欠損のある者は項目ごとに除外

●●県立●●高等学校

校長 ●● ●●殿

がんについてのアンケート実施へのご協力をお願い

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん臨床情報部 部長 東 尚弘

私どもの研究班は、現在、厚生労働省より補助金を受けて「次期がん対策推進基本計画に向けた新たな指標及び評価方法の開発のための研究」を進めております。

がん対策基本法第23条では、「国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする」とされています。また、平成26(2014)年度より「がんの教育総合支援事業」が行われ、がん教育が推進されています。さらに、平成29～30(2016～2018)年改訂の新学習指導要領では、中学校と高等学校の保健でがんを取扱うことが明記されました。

このように現在、これらががん教育が開始して数年といった時期にあります。今後のがん教育を確実に意義のあるものとするためには、現状を把握しそれに即した対策を考えていくことが必要です。そのため、貴校2年生を対象に、がんについての意識・知識の調査をさせていただきたく存じます。コロナ対策など、ご多忙な時期とはぞんじますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 本研究の概要

研究費の種類	厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業
実施年度	令和2～4年度
研究課題名	次期がん対策推進基本計画に向けた新たな指標及び評価方法の開発のための研究
研究代表者	東 尚弘(国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部部长)
研究分担者	助友裕子(日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科教授)

2. 今回の調査について

調査内容	がんに関する意識と知識について16項目と性別(完全無記名)
調査対象	神奈川県と沖縄県の高等学校2年生
回答期限	令和3年〇月〇日〇までに実施をお願いします。
調査データ	回答者自身がQRコードを読み込み回答・送信したものをコンピューターで統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた方の個人的な情報が外部に漏れたり、ご回答者にご迷惑をおかけしたりするようなことは決してありません。

【問合せ先】

令和3年度厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業「次期がん対策推進基本計画に向けた新たな指標及び評価方法の開発のための研究」(研究代表者 東尚弘)
分担研究者 助友裕子 suketomo.hiroko@jwcpe.ac.jp TEL/FAX 03-3300-3216

調査ご担当の先生

がんについてのアンケート(高校2年生)調査の手引き

研究代表者

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん臨床情報部 部長 東 尚弘

調査にご協力いただき誠にありがとうございます。調査実施に際しまして、ごく身近な家族が
がんで亡くしている生徒さんに個別の配慮をお願いします。
それでは以下の手順で実施をお願いします。

- ① 「がんについてのアンケート(高校2年生)」を配布してください。
- ② とんりの人の回答が見えないように配慮をお願いします。また、先生が机間を回るこ
ともされないようにお願いします。
- ③ 次のことを伝えてください。
「皆さんが答えた結果は、日本でがんで亡くなる人を減らすための研究に使用されま
す。」
「皆さんの名前や学校はわからないよう研究室に送信されます。」
「学校の成績には関係ありません。」
「思ったことや知っていることを正直に答えてください。」
「答えたくない人は答えなくても結構です。」
「では、スマートフォンでQRコードを読み込んで、始めてください。」
(回答時間は15分をお願いします。)
「これで終わりです。」
- ④ 以下に都道府県名と在籍者数をご記入の上、返信用封筒に入れてください。

都道府県名：()
クラス在籍者数：男子()名、女子()名

※お手数ですが、返信用封筒に封をして、そのままポストへ投函くださるようお願いします。

ご協力、誠にありがとうございました。

資料3 調査票

がんについてのアンケート（高校2年生）

匿名のアンケート調査へのご協力をお願いいたします。17項目の質問にご回答ください。皆さんの考えを知ることが目的ですから、回答したくない質問には回答しなくても結構です。テストではないので正解はありませんし、回答しないことで不利益になるようなことは一切ございません。

Q1. あなたご自身について選択してください。

性別 【どちらかに○】 男 ・ 女

Q2. がんと生活習慣に関する以下の質問について、最もあてはまるものを選択してください。（それぞれひとつずつ）

		そう思う	どちらとも いえない	そう思わない
1	たばこは吸わないでいようと思う。	1	2	3
2	お酒は飲みすぎないようにしようと思う。	1	2	3
3	適度に運動を行おうと思う。	1	2	3
4	適正体重を維持しようと思う。	1	2	3
5	塩分を取りすぎないようにしようと思う。	1	2	3
6	野菜や果物を十分にとろうと思う。	1	2	3
7	日頃から、バランスの良い食生活に取り組もうと思う。	1	2	3
8	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	1	2	3

Q3. 国が推奨しているがん検診は、どのような人が受けるものだと思いますか。適切だと思うものをすべて選択してください。

1. 自覚症状のある人
2. 医者から受けるようにすすめられた人
3. 1, 2に該当しないが一定の年齢を過ぎたすべての人

Q 4. もしあなたががんと診断されたら、治療方法は誰が中心となって決めますか。あなたの気持ちにもっとも近いものをひとつだけ選択してください。

1. 医師 2. 患者(自分) 3. 家族 4. わからない

Q 5. がんの標準治療として適切なものをすべて選択してください。

1. 手術療法 2. 化学療法 3. 放射線療法 4. 免疫療法
5. 生体療法 6. 自然治癒力増強療法 7. がんゲノム医療 8. わからない

Q 6. 緩和ケアは末期がん患者のみに適用される医療である。

1. そう思う 2. どちらともいえない 3. そう思わない
4. わからない

Q 7. 生活習慣とがんの関係について説明したものとして、適切だと思うものをすべて選択してください。

1. がんは、生活習慣の改善で予防できる
2. がんは、どのような生活習慣を送ったとしてもかかる可能性は変わらない
3. がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない
4. 不適切な生活習慣を送っていると絶対にがんにかかる
5. わからない

Q 8. がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。

1. そう思う 2. どちらともいえない 3. そう思わない

Q 9. 次の質問では、あなたのがんに対する考え方やイメージについて伺います。それぞれの項目についてどのくらいそのように思うかあるいは思わないかのいずれかひとつを選択してください。万が一選択に迷われる場合には「わからない」を選択してください。

		全く当てはまらない	ほとんど当てはまらない	あまり当てはまらない	当てはまる	よく当てはまる	非常によく当てはまる	わからない
1	がんの人と一緒にくつろげる	1	2	3	4	5	6	*
2	がんの人と一緒に気楽でいられる	1	2	3	4	5	6	*

Q10. あなたご自身が、がんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人のがんのことを自由に話せると思いますか。この中からひとつだけ選択してください。

1. 話せると思う
2. どちらかといえば話せると思う
3. どちらかといえば話せると思わない
4. 話せると思わない
5. わからない

Q11. 以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください。(それぞれひとつずつ)

	とても簡単	やや簡単	やや難しい	とても難しい	わからない

1	メディア（テレビ、新聞、インターネット、SNS など）から得た病気に関する情報が信頼できるかどうかを判断する	1	2	3	4	5
2	メディア（テレビ、新聞、インターネット、SNS など）から得た情報をもとに病気から身を守る方法を決める	1	2	3	4	5
3	健康になるためのメディア（インターネット、雑誌、SNS）情報を理解する	1	2	3	4	5

Q12. がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについて

お聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください。

（それぞれひとつずつ）

		とても簡単	やや簡単	やや難しい	とても難しい	あてはまるものがない	わからない／
1	今、必要な情報は何か、考える	1	2	3	4	5	
2	インターネットを活用する	1	2	3	4	5	
3	がん相談支援センターを利用する	1	2	3	4	5	
4	信頼できる情報か、考える	1	2	3	4	5	
5	行動する前に、周囲の意見を聞く	1	2	3	4	5	

Q13. 健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください。(それぞれひとつずつ)

		とても簡単	やや簡単	やや難しい	とても難しい	わからない／あてはまらない
1	いつの情報か	1	2	3	4	5
2	だれが発信している情報か	1	2	3	4	5
3	何を根拠にしている情報か	1	2	3	4	5

Q14. あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでも選択してください。

1. がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院の相談窓口）
2. 病院・診療所の医師・看護師や①以外の相談窓口
3. 保健所・保健センターの窓口
4. 図書館
5. 新聞・雑誌・書籍（4以外）
6. テレビ・ラジオ
7. 国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」
8. インターネット（7以外）
9. 家族・友人・知人
10. その他
11. 情報を入手しようと思わない
12. わからない

Q15. 授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったことはありますか。

1. ある 2. どちらかといえばある 3. どちらかといえない 4. ない

Q16. 授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたことがありますか。

- 1.ある 2.ない

Q17. 授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたことがありますか。

1. ある 2. ない

*** ご協力ありがとうございました。***